

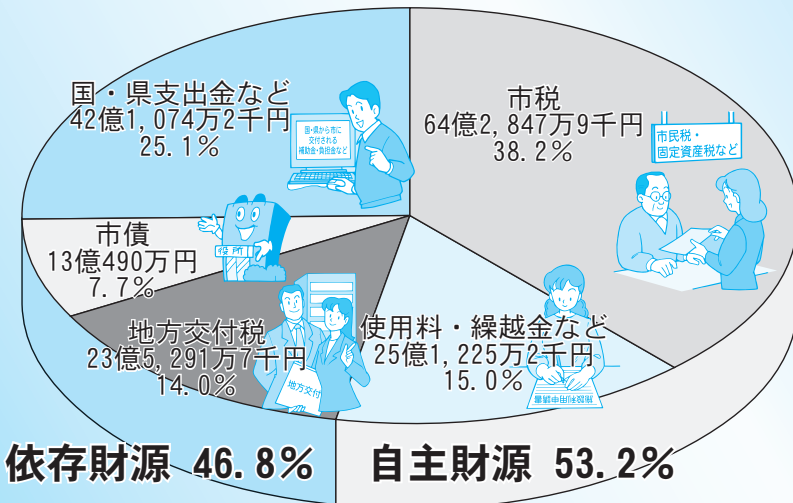
平成24年度決算

平成24年度の決算が9月定例市議会にて認定されました。ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかをお知らせします。

◆◆ 一般会計決算 ◆◆

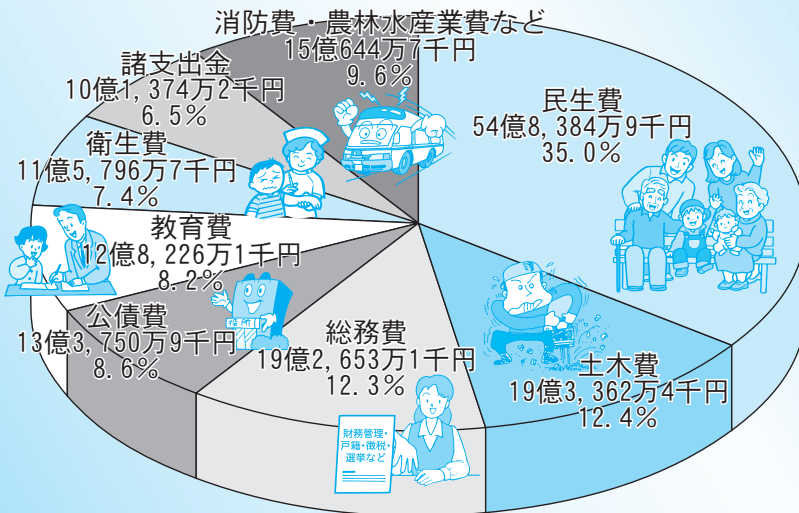
平成24年度一般会計決算額は、歳入が168億929万円、歳出が156億4,193万円で、単純な差し引き(形式収支)は11億6,736万円となりました。このうち、平成25年度に繰り越して実施する事業のための繰越金1億1,268万6千円を除いた決算剰余金(実質収支)は10億5,467万4千円の黒字となりました。

歳入(いただいたお金) 168億929万円



▼歳入は3・3%の増加
市税収入は引き続き低迷しているものの、国庫支出金や繰越金が増加したことなどから、歳入全体では平成23年度より3・3%の増加となりました。

歳出(使ったお金) 156億4,193万円



▼歳出は4・9%の増加
生活保護費や子ども医療費などの社会保障費や圏央道関連事業費が増加したことなどから、歳出全体では平成23年度より4・9%の増加となりました。

市民1人あたりは？

1人あたりの市税負担額は？
119,196円(A)

①と②の差額170,835円は、国・県支出金、使用料、市債などで賄っています。

1人あたりに使ったお金は？
290,031円(B)

たとえば、

民生費に	土木費に	総務費に
101,681円	35,853円	35,721円

(平成25年3月31日現在人口53,932人)

問合せ

一般・特別会計については
財政課

☎(43)1111 内線252

FAX(43)3783

水道事業会計については
水道管理課

☎(48)0050

FAX(48)0120

市税の状況

歳入の中で最も多いのは、みなさんに納めていただいた市税(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)で、歳入全体の38.2%を占めています。

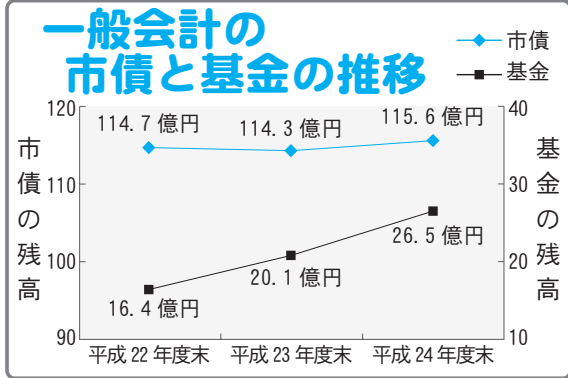
そのなかでも、市民税は、市税の約半分を占める大切な財源となっています。

なお、都市計画税は市街化区域内の土地や家屋に課税しているもので、2億8176万4千円の収入があり、主に下水道事業に使いました。

市債と基金の状況

市では、次世代への負担の先送りとならないよう、市債(長期にわたり借り入れる借金)の新規発行を抑制しています。

また、今後予定している大規模事業(幸手駅周辺の整備、圏央道関連事業、道路・橋・公園などの公共施設の老朽化対策など)に備え、基金(災害復旧や大規模事業などのため



の貯金)への積立てを計画的に行っています。

一般会計の主な事業と決算額

民生費(福祉に関する経費)

生活保護費の支給	10億4,857万円
子ども手当・児童手当の支給	7億8,110万円
障がい者への自立支援費の支給	6億4,243万円
子ども医療費の支給	1億3,059万円

土木費(道路や橋、公園などに関する経費)

下水道事業への繰出金	5億6,058万円
圏央道関連事業(産業団地整備を含む)	4億5,674万円
公園の維持管理	1億8,943万円
幸手駅周辺の整備	3,573万円

総務費(市の内部管理や企画などに関する経費)

土地開発公社所有地の購入	1億3,531万円
日本保健医療大学設立に係る補助	1億円
第5次総合振興計画後期基本計画の策定	343万円

教育費(教育に関する経費)

私立幼稚園の保育料軽減に係る補助	7,106万円
就学の援助・特別支援教育就学の奨励	4,622万円
小・中学校の扇風機と防犯カメラの設置	2,209万円

衛生費(保健やごみ処理に関する経費)

ごみ処理やリサイクルの推進	6億1,915万円
乳幼児などへの予防接種の実施	1億1,929万円
専門医などによる健康相談の実施	20万円

諸支出金(基金への積立金)

財政調整基金などへの積立	10億1,374万円
--------------	------------

そのほか(消防費・農林水産業費など)

防災行政無線(移動系)の更新	1億1,373万円
農産物直売所の建設に係る補助	1,000万円

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	76億3,021万6千円	70億1,754万2千円
後期高齢者医療	4億1,535万6千円	4億1,163万円
介護保険	27億8,734万6千円	26億6,413万3千円
農業集落排水事業	2,932万4千円	2,621万5千円
公共下水道事業	9億756万4千円	7億9,710万円
水道事業	収入	支出
収益的収支	10億9,901万9千円	10億251万4千円
資本的収支	4,972万5千円	4億2,979万1千円

※資本的収支の収入と支出の差額3億8,006万6千円については、内部留保資金により補てんしました。

健全化判断比率をお知らせします
～比率はすべて基準を下回っています～

健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準([]内に表示)などが設けられています。早期健全化基準はいわゆる「イエローカード」で、これを上回ると早期健全化団体と位置付けられます。

実質赤字比率 -%[13.38%]

一般会計の赤字が一般会計の収入に比べ、どの程度かを表すもの。赤字ではないため、該当なし「-」となります。

連結実質赤字比率 -%[18.38%]

市のすべての会計を合算した場合の赤字の程度を表すもの。赤字ではないため、該当なし「-」となります。

実質公債費比率 7.0%[25.00%]

市債の返済額などの程度を表すもの。

将来負担比率 20.7%[350.00%]

今後、返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表すもの。

ここでは、平成24年度に実施した事業の一部を紹介しています。詳細については、「決算書」「主要施策成果表」をご覧ください。

市ホームページ (<http://www.city.satte.lg.jp/>) のほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館で公開しています。

